

木造の架構と構造設計

～住宅の構造検証から中大規模公共建築物の設計まで～

【講演内容】

これまで木造といえば、専ら住宅を中心に考えられてきました。しかし最近では、非住宅系の中大規模建築物を対象とした研究や法整備が活発に行われています。

ほかの鉄筋コンクリート造や鉄骨造と比べると、木構造には以下のような特有の留意事項があります。

- ① 木材だけではなく、技術にも地域性がある
- ② 材料の調達に時間を要する
- ③ 木材には生物的な劣化現象がある
- ④ 「広い」「高い」「開放的な」空間をつくりにくい
- ⑤ 防耐火計画が構造計画と密接に関係している

これらは全て、木材が人為的に制御しにくい生物材料であることに起因しています。

このような問題に対して、小規模な戸建て住宅であれば何とか仕様規定の範囲内で対応できたかもしれません。しかし建築物の規模が大きくなるほど、意匠・構造・設備のすべてにおいて設計条件は厳しくなり、材料の調達も含めた施工者との事前協議の必要性も大きくなります。

それでも木造でつくられる建築物には、機能性だけではない魅力と、他構造では成しえない効果もあります。

本講座では、木造住宅の検証と中大規模建築物の設計事例を取り上げて、実務上配慮すべきポイントを解説します。私の今までの設計事例を紹介することで、地域性に配慮した魅力的な木造の空間づくりに、少しでも貢献できればと願っています。

【日時】平成29年8月24日（木） 14:00～17:00

【場所】職業能力開発総合大学校 会場：3号館 階段教室

【講師】山辺 豊彦 氏

【講師プロフィール】

1946年 石川県生まれ

1969年 法政大学工学部建設工学科建築専攻 卒業、青木繁研究室 入所

1978年 山辺構造設計事務所 設立

1982～1997年 法政大学工学部建築学科 非常勤講師

2006～2008年 千葉大学工学部建築学科 非常勤講師

一社) 日本建築構造技術者協会 関東甲信越支部 東京サテライト 顧問

一社) 住宅医協会 代表理事

